

■ 委員会の目的と活動内容

本学会の認知度を上げること、また、学校会員増（ひいては個人会員増）を目的とする。

一般および中・高校生、大学教養課程学生への教育・啓発に利用できる、太陽・再生可能エネルギーを分かり易く解説したパワーポイントなどの教材(資料)を作成する。

なお、この教材を用いて、中・高・短大などへの出張講義、もしくはweb 講義を行うことも検討する。（初級・入門編をボランティアで行う。さらに高度な内容の講義を求められたら入会をお願いする。）

■ 教材内容のたたき台（詳細は委員会で検討する）

内容は、Ⅰの概要・入門編、Ⅱ・Ⅲの要素技術ごとの解説、Ⅳの要素技術の統合というような分け方を考えている。

内容の難易度は、初級（一般、中・高校程度）、中級（科学好きな人、高校・大学教養程度）、上級（大学専門課程）の3段階を考えているがまずは初級編から製作する。

表1 資料の内容と難易度（対象）

大分類 ・内容	初級 (中・高校)	中級 (高校・大学等)	上級 (大学専門課程)	備考
Ⅰ 太陽エネルギー利用の概要 ・ 太陽エネルギー利用の種類と概要（入門編） ・ 太陽エネルギー利用の歴史 ・	◎ ◎			
Ⅱ 直接利用技術 ・ 光 ・ 熱 ・ 風 ・ バイオマス ・				
Ⅲ エネルギーとしての利用技術 ・ 光発電 ・ 熱発電				

・ 風力発電 ・ ・				
IV 100%再生可能エネルギーへの道				
V				
VI				

■ 委員会の立ち上げについて

これを具体化して行くには、作業グループ（WG など）を作る必要がある。その組織については、①広報委員会の下部組織 ②学会活性化委員会の下部組織 ③教育啓発委員会を立ち上げるなどの方法があると思うが、自由度が高い③の新規委員会を立ち上げるのが良いという意見をいただいた。

また、この新委員会の委員等については、理事会で委員会設立をお認めいただいた後、①委員会への参加者を公募し（応募者がいなかったら、各分野1名程度お願いする）、②メンバーが揃ったら、委員長・副委員長を選出するという順に組織作りをする。

（あくまでもやる気のある方に、なるべく多く集まっていたきたいと思っている。）

■ 検討事項

- ・ 内容のチェック体制が必要
- ・
- ・

■ 参考

- ・ ソーラーシステム振興協会のホームページの一般向け啓発ページ
<http://www.ssda.or.jp/energy/>
- ・ 日本建築学会「市民の広場」（やや難しい）
<https://www.aij.or.jp/citizen-square.html>
- ・ 漫画チックな一般向け啓発書「あたたかい暮らしのヒミツ」（このくらい易しくする必要あり）
https://www.atatakazoku.com/info/news/2064?doing_wp_cron=1593049039.4895439147949218750000

以上